

平成24年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9709）

1 目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「スポーツツーリズム」先進モデル事業	(33,097) 20,000	(30,513) 23,995	(2,584) △3,995			(13,097)	(20,000) 20,000	
トータルコスト	26,437千円（前年度 30,385千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	スポーツツーリズム推進のための基盤となる仕組みづくり・環境整備業務、連絡調整業務等							
工程表の政策目標(指標)	大山・中海地域におけるスポーツツーリズムの推進によって、訪日観光拡大の可能性を探る。							

※上段（ ）は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

スポーツツーリズムによる「国際リゾート地」を目指して、スポーツ環境にすぐれた県西部をモデル地域として、国内外からの観光客誘致拡大を図るための取組を行う。

2 主な事業内容

(1) 総合窓口拠点整備事業 (13,097千円 (緊急雇用創出事業))

緊急雇用創出事業を活用して、総合窓口拠点に中核人材（コーディネーター1名）とスポーツツーリズムアドバイザー（1名）を配置し、スポーツツーリズムの旅行商品の企画、販売、実施などを行う体制を整備する。

(2) サイクリングロード環境整備事業 (11,500千円)

国内外から多数の参加が見込める「サイクリング」を重点化し、必要な整備を行う。

事業名	内 容	金額 (千円)
【新】サイクル・サポーターづくり推進事業	料金割引やシャワーの利用、空気入れの貸出しなど、サイクリストにとって安心・快適なサービスを提供する支援体制構築を官民協働で実施。県は実施主体に対して、所要経費(2,500千円)の一部を助成(定額)。 【実施主体(想定)】 合同会社皆生未来開発(総合窓口拠点)	1,000
【新】サイクリングロード路面表示整備事業	○ツール・ド・大山コース (総距離：約80km、表示予定箇所：78箇所) ○日野川河川敷コース (総距離：約33km、表示予定箇所：4箇所)	10,500
計		11,500

(3) スポーツ大会の国際化等推進事業 (8,500千円)

スポーツツーリズムを推進する県西部地域の象徴的なスポーツ大会に対して、その国際化対応等に要する経費の一部を助成。

大会名 (競技種目)	県補助率	金額 (千円)
全日本トライアスロン皆生大会 (水泳、自転車、長距離走)	定額 (一部1/2)	5,000
皆生・大山 SEA TO SUMMIT (カヤック、自転車、登山)		2,000
ツール・ド・大山 (自転車)		500
【新】Mt. 大山ヒルクライム大会 (仮称) (自転車)		1,000
計		8,500

*外国からのマスコミ招致等経費、スポーツ旅行造成・販売への支援経費については、国際観光推進課で一括して計上。

3 これまでの取組状況 (平成23年度)

- ・全日本トライアスロン皆生大会とツール・ド・大山の国際化対応を支援。大会へは韓国を中心に20人を超える選手・マスコミ関係者が来県。現在、両国間のスポーツ交流へと発展中。
- ・相次ぐ韓国からのサイクリングコース視察への対応(マップ作成等)が実を結び、その後の商品造成・販売と送客が実現。
- ・観光庁「スポーツツーリズム人材育成研修(中級)」が全国で唯一、本県で開催された。
- ・世界的な自転車メーカーである台湾GIANT社の劉会長への知事面談が実現。次回ツール・ド・大山への協賛や台湾人選手の派遣を要請したところ、前向きな姿勢が示された。